

主 文

本件上告を棄却する。

上告費用は上告人の負担とすこ。

理 由

論旨第一点は原審の事実認定を非難するに帰着し（援用の判例はいずれも本件に適切ではない）、第二点は原審の認定しない事実を前提とする主張であり、第三点は重要と認め難い訴訟法規の違反を理由とするものであつて、結局「最高裁判所における民事上告事件の審判の特例に関する法律」（昭和二五年五月四日法律一三八号）一号乃至三号のいずれにも該当せず、又同法にいわゆる「法令の解釈に関する重要な主張を含む」ものと認められない。

よつて、民訴四〇一条、九五条、八九条に従い、裁判官全員の一致で、主文のとおり判決する。

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	真	野	毅
裁判官	沢	田	竹 治 郎
裁判官	斎	藤	悠 輔
裁判官	岩	松	三 郎